

犯則事件ノ證憑集取ハ事件發見地ヲ所轄スル稅關ノ稅關官吏ニ於テ之レヲ爲シ同一犯則事件ニシテ數ヶ所ニ於テ發見セラレタルトキハ各發見地ニ於テ集取セラレタル證憑ハ之レヲ最初ノ發見地所轄稅關ニ引繼キ若稅關ノ管轄區域外ニ於テ犯則事件ノ調査ヲ必要トスルトキハ之レヲ其ノ地ノ稅關長又ハ稅務署長ニ囑托スルコトヲ得ルモノトス(間十一條十二條)

第三款 犯則事件ノ處分

第一項 通告處分

一、稅關官吏犯則事件ノ調査ヲ終リタルトキハ其ノ顛末ヲ稅關長ニ報告シ稅關長ニ於テ犯則ノ心證ヲ得タルトキハ其ノ理由ヲ明示シ罰金若ハ科料ニ相當スル金額沒收ニ相當スル物品若ハ徵收金ニ相當スル金額ヲ稅關ニ納付スヘキ旨ヲ犯則者ニ通告スルモノトス此ノ通告ハ文書ニ依ルモノニシテ右ノ外犯則ニ關スル詳細ナル事實及物品ノ數量其ノ該當法條ヲ示シ相當罰ハ稅關長法定ノ範圍内ニ於テ之レヲ量定シ之レカ納付ノ場所及期限ヲ記載スヘキモノトス(註五八五)

此ノ通告書ニハ每葉契印シ其ノ文字ノ搜入削除若ハ欄外ノ記入ヲ爲シタルトキハ之レニ認印シ文字ヲ削除シタルトキハ其ノ字體ヲ存シ置キ其ノ字數ヲ記載スヘキモノトセラレ(註五八六)判例ハ此ノ通知書又ハ犯則調書中ニ每葉ニ契印ヲ遺脱シタルコトアリトスルモ眞實稅關官吏ノ作成シタルモノト認メラレタルトキハ法律上有效トス蓋シ法律カ每葉ニ契印ヲ命シタルハ其ノ書類ノ偽造變造ヲ防止スル趣旨ニ由來スルモノナレハナルヘシ

(註五八五) 關九四條關施六七條六八條、朝關施六九條七〇條

(註五八六) 關施七二條、朝關施七四條

二、稅關長ハ犯則ノ心證ヲ得タル者ニ對シ通告ヲ爲サスシテ宥處分ヲ爲シ得ルヤ否ヤニ關シ議論アリ關稅法並ニ間接國稅犯則者處分法何レモ之レカ明文ヲ缺ケルモ亦關稅法第九十四條間接國稅犯則者處分法第十四條ニ於ケル「心證ヲ得タルトキハ……」ノ字句ヲ以テ直ニ合法主義ヲ採用シタルモノナリトハ斷シ得サルヘク刑罰第二七九條ノ規定ナキ舊刑事訴訟法時代ニ於テモ盛ニ宥處分ヲ行ヒ得タルコトアル等ニ鑑ミ通告處分ヲ爲スト否トハ稅關長ノ權限ニ屬スルモノナルヲ以テ事案甚タ輕微ニシテ通告ヲ爲スノ要ナキモノト認メタルトキハ其ノ職權上ヨリ觀察シテ宥處分ニ付シ得ヘキモノトスル行政慣例ナリ然レトモ嚴格ナル文理解釋ニ從ヘハ合法主義ニ依リ消極ニ解スルヲ妥當トスヘシ

三、犯則事件カニ稅關以上ニ涉リ行ハレタルトキ又ハ犯則者カ犯行後居所ヲ移轉シタルトキニ於テハ犯人最後ノ稅關ニ於テ處分シ其旨犯罪地ノ稅關ニ通報スルモノトス尙内地、朝鮮間ニ於ケル場合ニアリテハ原則トレテ行爲地ニ於テ處分シ行爲地ニテ處分シ得ス他ノ地ニテ處分シタルトキハ之レヲ行爲地ノ稅關ニ通報スルモノトス(註五八七)

(註五八七) 大正十年内地稅關長會議決議第七

四、通告處分後ニ於テ其ノ錯誤アルコトヲ發見シタルトキハ取消シ得ルヤ否ヤニ關シテモ議論ノ餘地アリ通告書ノ送達前ニアリテハ單ナル稅關長ノ意思カ内部的ニ決定シタル迄ニシテ通告書ノ書案ト解スルコトヲ得ヘク從ツテ取消シ得ルコトハ疑ナキモ通告書カ犯則者ニ到達シタル後ニ於テハ國ノ機關タル稅關長ト犯則者トノ間ニ公ノ權利義務關係發生セルモノナレハ此ノ關係ヲ法律ニ依ラスシテ稅關長ノ單獨意思ヲ以テ取消スコトハ妥當ナラスト解スヘク殊ニ通告處分ハ裁判判決ノ如ク一定ノ確定力アル行政行爲ニシテ一度確定シタル後ハ一事不再理ノ原則ノ適用行ハレ特別ノ例外(例ヘハ裁判上ノ再審ノ如キ)ノ場合ヲ除ク外ハ假令其ノ行爲ニ法律上瑕疵アル場合ト雖モ同一事件ニ付テハ再審査ヲ許ササルモノナレハ其ノ行爲ノ前提トシテ錯誤ニ因ルモノナリトスルモ其ノ錯誤カ稅關長自身ノ過失ニ基キ且其ノ結果トシテ行爲ノ内容ニ違法ヲ生シ又ハ法律上ノ要件ヲ備ヘサル場合ニ之ヲ備ハレルモノト誤認シテ爲シタル如キ

場合ニアラサル限り絶対ニ取消ノ原因タラスト解スヘキモノトス而シテ此ノ取消ハ税關長ノ職權ニ因ル取消ナルヲ以テ取消ノ義務ナク從テ前述取消ノ原因存スル場合ニ於テモ之レヲ取消スヤ否ヤ一ニ公益上ノ見解ヨリ其ノ要否ヲ決スヘキモノタルヘク即チ之レヲ取消スヘキ公益上ノ必要之レヲ取消スコトニ依リテ公ノ秩序ニ及ホスヘキ影響等ヲ比較考量シテ決スヘキ所ナルヘシ錯誤ニ依ル取消ト區別スヘキハ誤記ノ場合ナリトス誤記ノ場合ハ之レアルコトヲ外部ノ事情ニ依リテ推測シ得ラルヘキ限り其ノ誤ヲ正シ之レヲ合理的ノ意義ニ解スヘキコトハ公ノ意思表示ノ解釋ノ原則トシテ當然ノ理事ニ屬スルコト言テ俟タス

五、通告書ノ送達ハ使丁ノ送達ニ依ル但シ書留郵便ヲ以テ爲スコトヲ得而シテ之レヲ送達シタルトキハ受領書ヲ徵スルモノトセラル(註五八八)没收ニ該當スル物品ニシテ市町村役場、府廳面事務所ニ於テ保管ニ係ルモノハ保管ノ義務付ノ手續ヲ爲スヘキモノトス(註五八九)

(註五八八) 關稅六九條第七二條、朝關稅七〇條第七一條

(註五八九) 關稅七〇條、朝關稅七二條

六、犯則者通告ノ旨ヲ履行シタルトキハ一事不再理ノ原則ノ適用ヲ受ケ更ニ後日ニ至リ同一事件ニ付訴ヲ受クルコトナシ而シテ此ノ場合没收品ニ該當スル物品ヲ所持スルトキハ公賣其他必要ノ處分ヲ爲ス迄之ヲ其ノ危險ニ於テ保管スルノ義務アルモノトス(註五九〇)

税關長ノ通告アリタルトキハ當該犯則事件ノ公訴ノ時効ヲ中斷スル效果アルモノトス(註五九一)

(註五九〇) 間十六條、第九十六條

(註五九一) 間十五條、關稅法ニハ定メナキモ通告ガ公訴ノ時効ヲ中斷スルコト疑ナシ

七、税關長ニ於テ犯則調査ノ結果其ノ心證ヲ得サルトキハ其ノ旨ヲ犯則嫌疑者ニ通告シ物件ノ差押ヘアルトキハ之レカ解除ヲ爲スモノトス(間一九條)關稅法ニアリテハ此ノ規定ナキヲ以テ疑アルモ其ノ心證ヲ得サリシトキハ其ノ旨ヲ

犯則嫌疑者ニ通知スルト否トハ自由ナルモノト解スヘク但シ其ノ差押ヘ物件ハ解除スヘキコト勿論ナルヘシ
八、犯則者ハ此ノ通告ヲ受ケタルトキハ其ノ之レヲ受ケタル日ヨリ關稅法及保稅工場法上ノ犯則ニアリテハ五日以内噸稅法ノ犯則ニアリテハ四十八時間以内間接國稅ニアリテハ七日以内ニ於テ其ノ旨ヲ履行スヘキモノトセラル(註五九二)此ノ通告ニ依ル意思表示ノ效力發生ノ時期ニ關シテハ意思表示ニ關スル通則ニヨリ(民法一九條五二六條)到達主義(又ハ受信主義)(Theory of Conception; Empfangstheorie; Theorie de la conception)ヲ採用シタルモノナルヲ以テ犯則者カ通告ヲ了知スルコトヲ得ヘキ狀態ニ置カレタルコトヲ以テ足り且十分トス故ニ犯則者ニ到達シタル日ヨリ起算スヘキモノトス而シテ右期間後ト雖モ税關長ニ於テ告發前ハ完成履行ト同様ニ取扱フ行政慣例ナリ(間一七條但書)犯則者ノ不完全履行例ヘハ罰金又ハ科料ノミノ納付若ハ其ノ一部ノ納付又ハ没收品ノ納付ノミナル等ノ場合ニアリテハ履行ナキモノトシテ告發ノ手續ヲ採ルヘキモノトス司法裁判所ニ於テ罰金又ハ科料ノ分納又ハ其ノ換刑ヲ認ムルモ行政處分ニ依ル通告ニアリテハ分納制度ヲ採用セス(註五九三)

(註五九二) 關九五條、假二二條、間一七條

(註五九三) 朝鮮稅關ニ於テ定メタル犯則事件處分通告書書式左ノ如シ

住	所	何	某	年	齡

貴殿ハ何年何月何日何處ニ於テ(犯則ノ事實ヲ詳記ス)シタルモノナリ

右所爲ハ(適用條項ヲ記載ス)ニ該當スルモノトス

仍テ左ニ揚記スル金額並物件ヲ何(稅關支署(稅關出張所)ニ納付スヘシ(煙草專賣令ノ場合ハ「但シ差押ニ係ル没收品ニ該當スル物品ハ納付ノ申出ノミヲ爲スヘシ」ト)但書ヲ附スルコト)

- 一、罰金(又ハ科料)ニ相當スル金額 金何程
 - 一、沒收品ニ該當スル物品 何何程
 - 一、追徴金ニ該當スル金額 金何程
 - 一、處分費 金何程(煙草專賣令違反ノ場合ニ限ル)
- 右通告ス此ノ通告ヲ受ケタル日ヨリ『五日』(煙草專賣令違反ノ場合ハ『七日』)噸稅令違反ノ場合ハ『受ケタル日ヨリ五日』ヲ受ケタル時ヨリ四十八時』トスルコト) 以內ニ
- 通告ノ旨ヲ履行セサルトキハ直ニ
- 告發ス
- 何年何月何日 何稅關長氏名印
- 一、適用條項ノ記載ハ左ノ例ニ依ルコト(左ノ例第一、二、三項省略ス)
 - 二、通告書ニ業以上ニ亘ルトキハ官印ヲ以テ割印スルコト
 - 三、挿入削除又ハ欄外ノ記入アルトキハ之ニ官印ヲ押捺スルコト

第二項 告 發

一、告發(Denouncement; Anzeiger; Dénonciation)トハ一般的ニ第三者ヨリ犯罪事實ヲ捜査機關タル檢事又ハ司法警察官ニ申告スルコトヲ謂フ告發ハ刑事訴訟法第二六條ニ定メラレタル如ク一般ニ告發ヲ爲スト爲ササルト自由ナルヲ原則トシ只刑訴第二六九第二項ニ於ケル官吏又ハ公吏其職務ヲ行フニ因リ犯罪アリト思料スルトキ及爆發物取締罰則第八條ニ於テ告發義務ヲ負ハシメタルモノアルノミ間接國稅犯則者處分法又ハ關稅法ニ依ル稅關長ノ告發ハ訴訟要件(處罰條件ナリトノ説アリ)ナルコト前言ノ如シ

從テ當該事件ニ付キ裁判所ノ認定スル事實ハ稅關長ノ通告告發ノ範圍ヲ超越スルヲ得サルモノトス然レトモ通告告發ニ基キ裁判所ノ公判ニ付セラレタル以上裁判所ハ其ノ公訴事實ニ對スル稅關長ノ觀察ニ拘束セラルルコトナク之レ

ト獨立シテ事實ノ真相ヲ調査シ之レカ認定ヲ爲スヘキコトハ毫モ普通刑事事件ニ於ケルト異ナルコトナシ例ヘハ稅關長ニ於テ關稅法第七十五條ノ連脫犯ト認メタルモノヲ裁判所ニ於テ關稅法第二十八條第一項ニ違反スル犯罪ナリトスルカ如キハ當該犯罪事實ニ關スル各其ノ觀察ヲ異ニスルモノト見ルヘク稅關長ノ告發セル範圍ヲ超越シタルモノト解スヘキニアラサルモノトス(註五九四)

(註五九四) 大正五年十月二十六日宣告(れ)第一六三〇號

二、告發ヲ爲スヘキ場合左ノ如シ(註五九五)

- 一、前掲ノ法定ノ履行期限內ニ其ノ旨ノ履行ナキトキ
 - 二、犯則嫌疑者ノ居所分明ナラサルトキ
 - 三、犯則嫌疑者逃走ノ虞アルトキ
 - 四、證據埒減ノ虞アルトキ
 - 五、犯則者通告ノ旨ヲ履行スル資力ナシト認ムルトキ
 - 六、犯則者書類ノ受領ヲ拒ミ又ハ其他通告シ能ハサルトキ
- 關稅法ニアリテハ右二、三、四、及六、ニ關シ何等定メナキモ間接國稅犯則者處分法ニ於ケルカ如ク同様告發スヘキモノナリト解ス

三、犯則事件ヲ告發シタル場合ニ於テハ差押物件アルトキハ差押目録ト共ニ裁判所ニ引繼キ其ノ差押物件ノ所有者、所持者又ハ府廳市町村又ハ面役所ノ保管ニ係ルトキハ保管證ヲ以テ引繼ヲ爲シ差押物件引繼ノ旨ヲ保管者ニ通知スヘキモノトス(註五九五)

(註五九四) 關九五條九七條、同十三條十四條十七條二項

(註五九五) 關施七一條、問國一八條

四、告發ハ稅關所在地ノ檢事ニ爲スヘキモノニシテ其ノ稅關長ノ作成スル告發書ノ如キモ關稅法又ハ間接國稅犯則者處分法ノ規定ニ依リ作成スルモノトナレハ必スシモ刑事訴訟法第七十一條及第七十二條ノ規定ニ從テ作成スルヲ要セサルコト夙ニ大審院ノ判決ノ說示スル所ナリ

只關稅法等ニ於テ特ニ定メタルモノナキヲ以テ刑事訴訟法ノ定ムル所ニ準シ作成スルヲ可トスルノミ即チ其ノ告發書ノ作成ニ當リテハ年月日、署名捺印、每葉契印、文字ヲ改竄セサルコト、挿入削除又ハ欄外記入ヲ爲シタルトキニ於テ認印シ其字數ヲ記入スルコト又ハ削除シタル部分ハ之ヲ讀得ヘキ爲字體ヲ存スルコト等ハ重要ナル公文書トシテ正ニ必要ナルヘキ事項ナレハ之レニ準シテ作成スルヲ妥當トスヘシ稅關長ノ作成シタル告發書ハ稅關長カ其ノ職務上認知セル犯罪事實ヲ記載シタルモノナレハ裁判上ノ證據力ヲ有シ告發書ヲ斷罪ノ資料ニ供スルコトハ法ノ禁スル所ニアラストセル判例アリ 大正四年十月二八日宣告(れ)第二五三七號)

尙通告發等ニ關スル詳細ナル手續等ニ付テハ間接國稅犯則者處分法施行規則、同手續租稅ニ關シ事犯アリタルトキノ處罰ニ關スル件(大正元年八月制令四號)等ヲ參照スヘシ。

關稅行政法論終

參考書

一、本書執筆ニ當リ參照シタル著書ノ主ナルモノヲ掲グ
一般行政法理ニ關シテハ

- 上杉博士著 帝國憲法述義(大正十二年度版)
- 清永博士著 國法學第一編 憲法編
- 美濃部博士著 日本行政法 總論各論(大正十三年度版)
- 佐々木博士著 日本行政法論 總論各論(大正十一年度版)
- 織田博士著 行政法論義上卷下卷
- 商法ニ關シテハ
- 竹田博士著 商法總論(大正十三年度版)
- 松本博士著 商法總論商行為海商法
- 民法ニ關シテハ
- 鳩山博士著 日本民法論(上卷)(大正十三年度版)
- 川名博士著 日本民法總則
- 三浦博士著 物權法提要
- 國際法ニ關シテハ
- 立 博 士著 戰時國際法
- 中村博士著 國際公法
- 遠藤博士著 國際法提要
- 刑法ニ關シテハ
- 牧野博士著 日本刑法論(大正十三年度版)
- 泉二博士著 日本刑法論上下(大正十一年度版)
- 刑事訴訟法ニ關シテハ

牧野博士著 刑事訴訟法(大正十三年度版)
林 博 士著 新刑事訴訟法大意(大正十三年版)
經濟及財政ニ關シテハ

- 大阪商業會議所編 歐州戰後ノ復興ト各國
- 津村博士著 國民經濟學原論(上下)
- 河 津著 商業政策綱要(大正十五年度版)
- 小川博士著 財政學
- 土方博士著 財政學ノ基礎觀念
- 神戸博士著 租稅之研究
- 關稅行政ニ關シテハ
- 一、稅關沿革史(橫濱、神戸、長崎ノ各稅關)
- 二、帝盟各國條約(明治十七年改版)
- 三、内地稅關長會議、稅關事務官會議、監視官會議、鑑査官會議ニ關スル決議錄
- 四、朝鮮稅關長會議、稅關監視稅務課長會議、鑑定官吏(鑑査官史)會議ニ關スル決議錄
- 五、小林行昌氏著 倉庫及稅關
- 六、同 倉庫論(大正十一年度)
- 七、太田博士著 關稅行政之研究
- 八、同 保稅制度論
- 九、高柳博士著 支那關稅制度論
- 一〇、宮脇順之介著 支那現行關稅制度概論(大正十三年版)
- 一一、堀江博士著 本邦通商條約論

一、東洋經濟新報社編 明治財政史綱
 一三、大阪稅關執務提要
 一四、野木 繁著 帝國稅法論
 一五、吉田茂雄氏著 支那關稅史
 一六、橫濱稅關編 橫濱稅關沿革史
 一七、長崎稅關編 長崎稅關沿革史
 一八、神戸稅關編 神戸稅關沿革史

二、外國著書ニ關シテハ左ノ如シ

外國著書

1. Fisk and Peirce, International Commercial Policies, 1923.
 2. Percy Ashley, Modern Tariff History.
 3. A. Marshall, Industry and Trade, 1923,
 4. Ashley, Tariff Problem,
 5. Hignore's Excise Laws, 1923.
 6. Han's Year Book (London), 1926.
 7. Treasury Dept. U. S. A., Customs Regulations, 1923.
 8. Girault, The Colonial Tariff Policies
 9. U. S. Tariff Commission, Dictionary of Tariff Information, 1924.
 10. Kelly's Customs Tariff of the World, 1925.
 11. Handbook of Customs Procedure at Shanghai, 1921.
 12. Grunzel, Grundriss der Wirtschaftspolitik. Bd. III, Handelspolitik. 1921.

13. Alfred Marshal, Die Zollpolitische Regelung des Aussehenshandels, 1925.
 14. Hoffmann, Kommentar zu den Zoll und Steuergesetzen des Deutschen Reiches, 1921.
 15. Lousouman, Cours de Douane, 1920.
 16. G. Oallain, Les Douans Francaises Regime, General, Organisation Fonction.
 17. Henry Lewis, H. History of Economic Thought.
 18. Mun Thomas, England Treasure by Foreign Trade.
 19. Gregory T. E. G., Tariff's, A study in method, London, 1921.
 20. A Comparative study of Economic Industrial and Commercial Conditions in the Free Port of Europe and the Post New York,
 21. Dr. Viners, Dumping, A Problem International Trade Chicago, 1923.
 22. H. E. Eberton, A short story of British Colonial Policy, 1905.
 23. Grunzel, System der Handelspolitik 2 Aufl.
 24. Thiele Friedrich, Dis Deutsche Zollabfertungsverfahren.
 25. A. Marshall, Die Zollpolitische Regelung des Aussehenshandels 1925.
 26. Gide, Chas, Cours d'Economie Politique, 1923.
 27. Davison, A, De, La Protection par les Primes 1920.
 28. Han's Year Book Vol. I. Custom.

29. ТАМОКЕННІЙ УСТАВ КОРОА С. С. Р., 1925.

略字

一、本書ニ用ヒタル略字左ノ如シ

(一) 關稅法……………「關」
 (二) 關稅法施行規則……………「關施」
 (三) 關稅法及大正九年法律第五十三號施行規則……………「朝關施」
 (四) 關稅定率法……………「關定」
 (五) 保稅倉庫法……………「保」
 (六) 保稅倉庫法施行細則……………「保施」
 (七) 保稅倉庫法施行規則……………「朝保施」
 (八) 保稅工場法……………「工」
 (九) 保稅工場法施行細則……………「工施」
 (一〇) 保稅工場法施行規則……………「朝工施」
 (一一) 噸稅法……………「噸」
 (一二) 噸稅法施行規則……………「噸施」
 (一三) 朝鮮噸稅令……………「朝噸」
 (一四) 稅關貨物取扱人法……………「扱」
 (一五) 同 施行規則……………「扱施」
 (一六) 朝鮮總督府稅關貨物取扱人ニ關スル 制令施行細則……………「朝扱施」
 (一七) 訴願法……………「訴」
 (一八) 會計法……………「會」
 (一九) 會計規則……………「會規」

(一〇) 國稅徵收法……………「國」
 (一一) 國稅徵收法施行規則……………「國施」
 (一二) 國稅徵收令……………「朝國」
 (一三) 國稅徵收令施行規則……………「朝國施」
 (一四) 間接國稅犯則者處分法……………「間」
 (一五) 砂糖消費稅法……………「砂」
 (一六) 砂糖消費稅法施行規則……………「砂施」
 (一七) 朝鮮砂糖消費稅令……………「朝砂」
 (一八) 朝鮮砂糖消費稅令施行規則……………「朝砂施」
 (一九) 織物消費稅法……………「織」
 (二〇) 織物消費稅法施行規則……………「織施」
 (三一) 朝鮮出港稅令……………「朝出」
 (三二) 同 施行規則……………「朝出施」
 (三三) 南洋群島出港稅……………「南出」
 (三四) 同 施行規則……………「南出施」

昭和六年十月二十八日印刷
昭和六年十一月三日發行

關稅行政法與付
定價金七圓

著作
權
所
有

著作者 板垣只二

發行者 青木敬三

印刷者 甲田藤太郎

東京市神田區錦町一丁目十九番地
東京市麴町區紀尾井町三番地

發
兌
元

東京市神田區
錦町一丁目

青山堂書店

(振替東京三四六八五番)

中
32



● 中華民國二十二年四月一日 ●

600
236

